

# 中央区文化・国際交流振興協会だより



30回を迎えた「国際交流のつどい」：ボランティアスタッフの皆さん（上）  
お疲れさま・「国際交流のつどい」振り返り会で来年を誓う（下）



● 特集 ●

## 知れば知るほど奥深い！香辛料の世界

エスビー食品 スパイス&ハーブマスター 磯部 友美氏

- 第30回中央区国際交流のつどい
- 令和5年度の事業報告と決算
- 第17回中央区まるごとミュージアム2024



# 知れば知るほど奥深い! 香辛料の世界

エスピー食品 スパイス&ハーブマスター

磯部友美氏



令和6年10月に開催した文化講座「知れば知るほど奥深い! 香辛料の世界」では、エスピー食品株式会社および山崎香辛料振興財団のご協力により、3回にわたり①「世界を魅了する香辛料~その香りと歴史をたどる~」②「日本の食卓に根付いた香辛料~カレーライスの普及から、家庭で使える『スパイス&ハーブ』へ~」③「これからの『スパイス&ハーブ』~未来の食生活と健康に向けて~」と題して講座を開催しました。大変好評でしたので、講演内容を中心にご寄稿いただきました。

磯部友美 (いそべゆみ) 氏



エスピー食品株式会社 スパイス  
&ハーブマスター

広報・IR 室所属。2008年に同社社内資格である、スパイス&ハーブマスターに認定。営業、商品企画、広報などの経験を活かしながら、セミナー・イベントなどにおける講師活動や、WEB 媒体における情報提供、メニュー提案などを通して、スパイスとハーブの魅力を伝える活動を行っている。

食欲をそそる香り、食卓を華やかに彩る色み、不思議と虜になる辛み…これらをもたらす「香辛料」。スパイス、ハーブなどとも呼ばれ、様々な定義がありますが、「香りがある植物の一部で、調味を中心に人々の生活に役立つもの」と捉えることができます。その歴史は、古代から約 5000 年もの歳月を歩み、様々な文化で大きな役割を果たしてきました。そんな奥深い香辛料の歴史の一端をご紹介します。

古代エジプトでは、死者をミイラとして葬る際、防腐作用の強いシナモンなどのスパイスを遠い国から取り寄せ、体内に詰めていました。またその墓所であるピラミッドの建設の際には、労働者たちの強壮剤のような目的で、大量のガーリックが使われたそうです。また、他の国では、薬用や宗教祭事に重要な役割を担っていたことも分かっています。その後、紀元前 400 年ごろのギリシャでは、ヒポクラテスにより 400 種ものハーブの処方が残され、科学的に病気を捉える医学の基礎が築かれました。他にもインドの伝統医学アーユルヴェーダ、中国の漢方においても古くから香辛料と共通する植物性原料を医療に使うことで知られています。

このように利用されていた香辛料は貴重品として扱われており、中世にかけては、産地である東洋からヨーロッパへ2年の歳月をかけて陸路で運ばれるなかで、金銀に匹敵する高価な財宝として取引されるまでになりました。特にその原産地でしか産出されなかった、こしょう、クローブ、ナツメッグ、シナモンなどは、ヨーロッパでは入手困難な貴重品となり、かのマルコ・ポーロの『東方見聞録』に著された煌びやかな東洋文化もまた、人々の東洋への憧れや好奇心をかきたて、その後の 300 年にも渡る大航海時代へと進んでいきます。

そして、15 世紀末~16 世紀、バスコ・ダ・ガマやマゼランといった航海者たちの苦難の末に、インドや「香料諸島」と呼ばれるモルッカ諸島(現在のインドネシア)に到達する航路が開拓されました。一方で、大西洋を渡って東洋を目指したコロンブスは、アメリカ大陸に阻まれ香料諸島に辿り着くことはできませんでしたが、彼がヨーロッパへ熱帯アメリカ原産の唐辛子をもたらしたことは、世界の食文化においては重要な出来事となりました。



こしょう



クローブ



ナツメッグ



シナモン

かつて世界を動かしたスパイス。世界4大スパイスとも呼ばれる。

こうして、ヨーロッパにおいてスパイスは比較的入手しやすくなり、大衆にも広がりました。アメリカ大陸からの新しい食物も盛んに生産され、食生活は楽しみながら味わう食文化の方向へ発展し、カルダモン、クローブ、ナツメグ、シナモンなどのスパイス類は、その香りが重要な役割を持つようになっていきました。

その中で勃発したのがスパイス戦争でした。こしょうやクローブ、ナツメグは依然としてそれぞれの原産地でしか生育しておらず、ヨーロッパ各国はそれら産地の激しい争奪戦を繰り広げたのです。スペイン、ポルトガル、イギリス、オランダの4カ国の熾烈な戦いの末、17世紀前半にはモルッカ諸島のほとんどはオランダ統制下におかれました。



パナマ海峡にある古いスペイン要塞の跡



17世紀のスペイン帆船

こうしたスパイス戦争ですが、フランスの知略によって幕を閉じることとなります。1770年ごろ、フランスはクローブやナツメグなどの苗木を産地から盗み出し、自国支配下のマダガスカル島に移植することに成功したのです。苗木の移植はイギリスやアラビア人によっても進められ、栽培地の広がりとともにヨーロッパ各国による香料諸島の領土化植民地政策は意味が薄れました。19世紀中頃には移植地での生産が原産地を超えるほどに増大し、スパイス戦争は自然に終焉を迎えることとなります。

さて、このヨーロッパ各国による東洋進出に端を發し世界に広がったとされるメニュー、それが「カレー」です。一説によれば、18世紀後半、インドに駐在していたイギリス人により、インド料理とその材料であるスパ

イス類がイギリスにもたらされ、その後、西洋の食文化である小麦粉でとろみをつける手法やあらかじめ複数のスパイスを混合した「カレー粉」を用いた欧風の「カレー」が生まれたと言われていいます。

そして、この「カレー」は日本でさらに進化を遂げます。カレーは、日本の開国後に押し寄せた西洋文化のひとつとして徐々に伝わり、1872年には『西洋料理指南』という料理書にてカレーの作り方が紹介されました。1877年には東京・風月堂にてライスカレーが提供されていましたが、当時もりそばが1銭程度だったのに対し、このカレーは1皿8銭という高級メニューでした。しかし、その香りや味わいに魅了される日本人は多かったようで、1898年の料理書『日本料理法大全』には日本の料理としてカレーが紹介されるまでになっています。

しかし、1900年代に入っても、材料であるカレー粉はイギリスからの輸入に頼っている状態で、国内メーカーにより販売されていたものも、入手が容易な唐辛子や陳皮（みかんの皮）などを海外製のカレー粉に混合した、香りの弱いものだったといえます。もっと多くの人に美味しいカレーを安価に食べてもらいたいという想いで研究を始めたのが、エスビー食品創業者の山崎峯次郎です。カレー粉が何からできているのかすら分からないところから、漢方薬とされるものがスパイスとして使用されていること、そして、混合されるスパイスまでをひとつひとつ解き明かして独自の配合や製法にたどり着き、1923年に国産初のカレー粉開発に成功しました。1930年には初の家庭用のカレー粉を発売、1950年には現在も販売されている「赤缶カレー粉」を発売し、国民食としてのカレーを支えました。皆さまご存じのとおり、現在まで老若男女に身近なメニューとしてカレーライスは愛されており、近年では「ジャパニーズカレー」として海外からも注目されるメニューとなっています。



1930年（昭和5年）  
ヒドリ印  
ビン入りカレー粉  
（初の家庭用カレー粉）



1950年（昭和25年）  
赤缶カレー粉

古代から食や健康へ利用され、歴史をも動かした香辛料。現在も新たな食文化を生み出し、人々の健康で豊かな生活に貢献しています。いつまでも大切にしていきたい、貴重な地の恵みといえるでしょう。



ヨルダンから来ました。  
和太鼓ワークショップ  
とっても  
楽しかったです！



●けん玉実演  
Kendama Performance



●日本の  
Japanese



●和太鼓ワークショップ  
Taiko (Japanese Drum) Workshop



●呈茶・茶道体験  
Tea Ceremony Experience



## 第30回中央区国際交流

### 30th Chūō-ku International Exchange

11月16日(土)、築地社会教育会館  
第30回「中央区国際交流の日」  
31の国・地域からの外国人  
516人の参加者が集い、国際交流の場を



●抹茶の点て方体験  
Matcha Making Experience



●生け花体験  
Flower Arrangement Experience

●着付け  
Kimono Etiquette



●盆踊り  
Japanese Bon Dance



●水引細工  
Mizubiki Workshop



●防災コーナー  
Disaster Preparedness

「中央区国際交流のついで」が第30回を迎えました。本イベントは、外国人と日本人の市民同士の国際交流を推進すべく、中央区文化・国際交流振興協会が、毎年秋に開催。日本や諸外国の文化を紹介し合う国際色豊かなプログラムを実施しています。

会場となった築地社会教育会館に、今年は19のプログラムが揃いました。初登場の「型染め染色体験」では、伝統的な刷り込み刷毛を使って、オリジナル布ポーチを製作。花や忍者などの型をポーチに着色し、型を剥がすと美しい模様を描き出され、子どもたちも大喜び。初回から続く「茶道」「華道」「着付け」は今も変わらず大人気で、和室の前には人だかりがで、洋室を使った「抹茶の点て方体験」では、茶

筌を手に一服を楽しむ姿が絶えませんでした。「長唄三味線」コーナーでは、三味線が一人一竿手渡され、日本の伝統歌曲「さくらさくら」の演奏に挑戦。「和太鼓ワークショップ」では、迫力満点の演奏を鑑賞したり、体験できました。だれもが輪になって楽しんだのは「盆踊り」と「サルサダンス」。ハリハリのリズムで言葉は不要。笑顔が広がります。「水引細工」「凧づくり」「折り紙」では、日本の伝統工芸や手仕事の奥深さにハマる外国人も多数みられました。

将棋、カルタ、輪投げ、韓国の盤ゲームなどが盛りだくさんの「日本の遊び・外国の遊び」では、あちらこちらで世代や国を超えたミニ対戦が繰り広げられ、周囲からはあたたかな声援や拍手が飛び交いました。



料理  
Foods



●スリランカミルクティー  
Sri Lankan Milk Tea



●スリランカパネル展  
Panel Exhibition of Sri Lanka



●サリー着付け  
How to put on a Sari

11/16(SAT)  
12:00~  
16:00

# 国際交流のつどい

## Utsunomiya City Exchange Party

社会教育会館で「国際交流のつどい」を開催しました。137人を含む国際交流を楽しみました。



●折り紙  
Origami



●日本の遊び・海外の遊び  
Japanese Games • Foreign Games



●長唄三味線を弾いてみよう！  
Let's try Shamisen!



●凧づくりと凧の展示  
Kite Making and Displays



●型染め染色体験コーナー  
Katazome(Stencil Dyeing)



●サルサ  
Salsa Dance

リトアニア出身です。  
IT系の仕事をしています。  
凧づくりを楽しみました。  
また来年もきたいです。



「国際交流のつどい」の誕生は、1993年11月20日。1990年発足の「中央区女性海外研修者の会」の活動成果のひとつとして、地元にながらも国際交流の輪を広げようと計画されました。第1回会場は月島社会教育会館の4、5階。「茶道」「華道」「着付け」のほか「羽付きの部屋」「伝統遊びの部屋」の5事業を催し、雨天にもかかわらず、外国人来場者30人を含む113名が集まりました。その後もメンバーが知恵を出し合い企画を練り、外国人参加者が増えるよう日本語学校などへ足を運んでPR。今では築地社会教育会館全館を貸し切り、毎年、約20事業、参加者総数400名を超える、秋の恒例イベントとして愛されています。



当時の様子「着付け」

プロの素晴らしい技が披露された「けん玉実演」のあとは、けん玉を手で奮闘する子どもたちも続出しました。

料理コーナーでは、「日本の料理(けんちん汁)」と「スリランカミルクティー」が振る舞われたほか、スリランカのジンジャークッキーなどおやつも充実。スリランカの大きな国旗が掲げられた「スリランカパネル展」、「サリーの着付け」であでやかに変身したサリー姿の女性たち、日英中3カ国語による館内放送など、館内を練り歩くだけでも多彩な国際文化に触れられるのが魅力です。日本の豊かな自然や風土と表裏一体ともいえるのが地震や天災。備えの大切さを外国人に紹介する「防災コーナー」では、熱心に資料を見入る姿もありました。皆さま、来年もまた一緒に楽しみましょう。

# 令和5年度の事業報告と決算

## 令和5年度の事業報告

令和6年7月11日(木)開催の令和6年度第1回理事会において、令和5年度の事業報告及び収支決算報告が承認されました。その概要を報告します。

### I 文化振興事業

#### (1) 機関誌の発行

「中央区文化・国際交流振興協会だより」を発行しました。

発行部数等 5,500部 A4判 8ページ  
発行回数 年2回(令和5年7月—第79号、同年12月—第80号)

#### (2) ホームページの運営

協会ホームページにて、協会の事業内容やイベント案内等の最新情報を提供し、協会に対する理解と参加の促進を図りました。

URL: <https://www.chuo-ci.jp/>  
また、SNSによる情報発信も行いました。



#### (3) コンサートの開催

音楽の楽しさに触れられる機会としてコンサートを開催し、音楽文化への理解を図りました。

日時 令和5年9月8日(金)  
午後6時45分開演  
会場 日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」  
内容 東儀秀樹 ジャズと時空を超えた音楽  
出演者 東儀秀樹、東儀典親、Keiko  
入場者数 328名  
参加費 2,000円



#### (4) 文化講座の開催

中央区に縁のある文化や歴史等からテーマを絞り、専門家による講話等による連続講座を開催し、その理解を深めてもらいました。

令和5年度は、捕物帳で有名な「八丁堀」を中心に、下町の実像を探る連続講座『～時代小説、時代劇の中心地～ 江戸の暮らしと八丁堀に迫る』をメインテーマに開催しました。

##### 第1回

日時 令和5年10月5日(木)  
午後6時45分開演  
内容 「八丁堀・七不思議のあった町  
及び講師 ～水路がもたらす江戸の賑わいその名残りをたどる～」  
幕末・新選組ライター 伊東 成郎

##### 第2回

日時 令和5年10月12日(木)  
午後6時45分開演  
内容 「町人自治と大江戸警視庁くとか・同心」が守る庶民の暮らし～十手・捕縄が及ばぬ世界もあった～」  
及び講師 江戸文化研究家、早稲田大学エクステンションセンター講師 菅野 俊輔

##### 第3回

日時 令和5年10月26日(木)  
午後6時45分開演  
内容 「捕物帳に見る庶民の夢」  
及び講師 文芸評論家 縄田 一男  
会場 本の森ちゅうおう 1階 多目的ホール  
参加者数 延192名  
参加費 無料



#### (5) 特別文化講演会の開催

展覧会・美術展に関連した講演会をNHKとの共催により開催し、幅広く文化意識の向上を図りました。

##### 第1回

日時 令和5年6月15日(木)  
午後6時50分開演  
演題 ガウディとサグラダファミリア  
及び講師 「この聖堂はなぜ、どのように、生まれたの?」  
神奈川大学名誉教授 鳥居 徳敏  
参加者 357名

##### 第2回

日時 令和5年10月2日(月)  
午後6時50分開演  
演題 「永遠の都ローマ展」のみどころ  
及び講師 東京都美術館 学芸員 小林 明子  
参加者 345名

##### 第3回

日時 令和6年1月24日(水)  
午後6時50分開演  
演題 本阿弥光悦の茶碗  
及び講師 東京国立博物館 学芸企画部 出版企画室 主任研究員 三笠 景子  
参加者 291名

会場 日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」  
参加者 無料



#### (6) 古典芸能鑑賞会の開催

中央区に深い関わりのある古典芸能を広く鑑賞できる機会を提供することで、伝統文化への理解と愛する心を育み、その継承・普及を図りました。企画・制作は、「中央区古典芸能の会」に委託しました。

日時 令和5年6月3日(土)  
午後5時開演  
会場 日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」  
内容 講話 「伝馬町牢屋敷物語」  
伊東 成郎  
舞踊 清元「老松」 花柳 壽輔  
演奏 浄瑠璃 清元 美寿太夫  
三味線 清元 菊輔  
落語と獅子舞 「強情灸」  
古今亭 志ん彌  
演奏 宮園節「ほおすき」  
浄瑠璃 宮園 千よし恵  
三味線 宮園 千佳寿弥  
舞踊 常磐津・長唄「身替座禅」  
山蔭 右京 尾上 菊之丞  
奥方 玉の井 花柳 源九郎  
太郎冠者 花柳 寿美蔵  
侍女 千枝 坂東 はつ花  
侍女 小枝 藤間 京之助  
演奏 浄瑠璃 常磐津 兼太夫  
三味線 常磐津 文字兵衛  
唄 杵屋 和吉  
三味線 今藤 美治郎

入場者数 303名(花道使用)  
参加費 2,000円(中学生以下1,000円)

#### (7) 文化推進事業助成

区内の文化活動を促進していくために、区民等が取り組む文化活動等に対し、その経費の一部を助成しました。

(助成)

##### ①文化創造・発信事業助成

助成金額:当該事業の対象経費の9/10の範囲内(上限200万円)

助成件数:ア 令和5年度助成件数(令和4年度決定):4件

イ 令和6年度助成予定件数(令和5年度決定):4件

##### ②文化団体活動助成

助成金額:当該団体活動の対象経費の1/2の範囲内(上限40万円)

助成件数:ア 令和5年度助成件数(令和4年度決定):3件

イ 令和6年度助成予定件数(令和5年度決定):4件

##### ③文化推進事業助成

助成金額:当該事業の対象経費の1/2の範囲内(上限10万円)

助成件数:2件

(後援)

後援件数:10件

#### (8) 中央区まるごとミュージアムの開催

名所・旧跡、画廊・美術館、水辺など豊かな文化資源に恵まれている中央区の文化的魅力を体験できる総合的な文化イベントを中央区との共催で実施しました。

日時 令和5年11月5日(日)  
午前10時～午後4時

場所 中央区全域

#### 実施結果

・バス乗車人数(区内巡回用都営バス借り上げ。江戸バス。いずれも無料)

合計3,697名

・乗船人数(日本橋周遊、明石町水辺ライン周遊及び日本橋～晴海の3コース。無料)

合計2,563名

・イベント事業数 43事業及び3協賛事業  
イベント参加人数 延61,000名

#### (9) 文化振興プロデュースチーム

「中央区文化振興プラン」(平成20年3月中央区文化振興懇談会提言)に基づき、区民等(企業、NPOを含む)の自主的な文化活動の推進・拡大を図るため、中央区と協会が協力して専門家等で構成するプロデュースチームを平成20年度から運営しています。

令和5年度は、区や協会が行う文化事業について意見をいただくとともに、まるごとミュージアムの事業者連絡会に出席するなど、区内の文化事業の推進に関わっていただきました。

## II 国際交流振興事業

#### (1) 国際交流のつどい

外国人と日本人との交流を推進するため、日本の伝統文化等を紹介するとともに、外国文化にも触れられる交流イベントを開催しました。

日時 令和5年11月18日(土)  
正午～午後4時

会場 築地社会教育会館

内容 ○伝統文化体験コーナー  
○国際交流サロンコーナー  
○防災コーナー等

参加者数 425名(ボランティア等含む)

参加費 無料

#### (2) 国際交流サロン

在住・在勤・在学の外国人と日本人が、日本の

文化等を体験しながら交流を深められる場となる「国際交流サロン」を、11月を除く毎月開催しました。

**会場** 男女平等センター「ブーケ21」他  
**内容** 海苔のおいしさを知る!、和菓子に学ぶ、茶道体験、盆踊りを覚えて踊ろう!、New Sports!、折り紙を楽しむ、銀座で学ぶ時と時計の歴史、こんなときどうする?～安心・安全な暮らし～、付け打ちを学ぼう!、防災訓練  
※雨天により4月は中止となりました。

**実施回数** 10回

**参加者数** 外国人 延98名、日本人 延96名、ボランティアスタッフ 延69名(事前申込制)

**参加費** 無料



### (3) 日本語教室

日本語でのコミュニケーションが困難な区内在住・在勤の外国人を対象に、協会の日本語ボランティアによる日本語教室を通年で開催しました。協会主催とボランティア主催の2種類、計11教室があり、いずれも地域の日本語ボランティアの方が活動しています。各教室では、学びの場であるとともに、指導者と学習者との温かな交流が行われています。ボランティア主催教室に対しては、助成金の交付や後援名義の使用、学習者紹介等の支援を行っています(協会が支援する教室)。

### (4) 日本語指導者養成講座

近年、外国人人口の急増とともに日本語教室受講希望者も増加傾向にあります。今後、各教室の活動を充実させていくために、日本語ボランティアを養成する協会独自の日本語指導者養成講座を開催しました。

**期間** 令和5年6月～9月 22回(44時間)

**会場** 新富区民館

**講師** 明海大学外国語学部日本語学科 准教授 西川 寛之

**修了者数** 25名

**参加費** 無料

### (5) 日本語ステップアップ講座の開催

各教室で活動する日本語指導者の指導能力向上

に向け、指導技法を学びレベルアップを図るため、ステップアップ講座を開催しました。

**期間** 令和5年7月～令和6年2月 6回(14時間)

**会場** 新富区民館

**講師** 公益社団法人 国際日本語普及協会へ講師派遣を委託  
明海大学外国語学部日本語学科 准教授 西川 寛之

**受講者数** 延125名

**参加費** 無料

### (6) ボランティア活動支援

日本語教室の日本語指導者をはじめとする各種ボランティアの登録を受け付けているとともに、中央区からの要請を受け、区事業実施時に通訳ボランティアを派遣しました。

また、協会登録ボランティアの活動強化・ボランティア間及び協会との連携強化を図るため、ボランティア研修会を開催しました。

### ①ボランティアの種類及び登録者数(令和6年3月末日現在)

登録者数: 352名(実人員。次の区分では複数登録あり)

- 通訳・翻訳ボランティア: 103名
- 防災語学ボランティア: 63名
- イベントスタッフボランティア: 189名
- 日本語ボランティア: 220名
- 国際交流サロンボランティア: 12名

### ②ボランティアの派遣・活動

通訳・翻訳ボランティア

延13名(国際交流サロン及び保健センターにおける通訳など)

### ③ボランティア研修会

第1回

**日時** 令和5年7月26日(水)  
午後6時45分～8時15分

**会場** 新富区民館

**演題** 「マレーシア」から学ぶ 多文化を受け入れ共に暮らしていくヒント  
ホー セック ジア(アダム)

**参加者数** 15名

**参加費** 無料

第2回

**日時** 令和6年3月30日(土)

午前11時～午後1時

**会場** 東京ジャーミイ・ディヤーナト

トルコ文化センター(渋谷区大山町)

**演題** トルコから見えてくる歴史と世界

**参加者数** 44名

**参加費** 無料



### (7) 姉妹都市親善写真展

姉妹都市ザザランド市と本区との一層の親善を深めるため、生活や風景、行事等を紹介する写真を相互に交換し、写真展を開催しました。

**実施期間** 令和6年1月28日(日)～2月2日(金)  
区役所本庁舎1階ロビー

**実施期間** 令和6年2月3日(土)～9日(金)

**及び会場** 日本橋区民センター1階ロビー

**実施期間** 令和6年2月10日(日)～16日(金)

**会場** 月島区民センター1階ロビー

### (8) 国際交流推進事業助成

協会の目的である国際交流を振興するため、区民が主体となって行う国際交流事業に対して、事業の実施に要する経費の一部を助成及び後援をしています。

**助成金額**: 当該事業の対象経費の1/2の範囲内(上限10万円)

**助成及び後援件数**: 0件

## 令和5年度決算

### <収入>

科目	決算額(円)	説明
事業収入	1,308,500	古典芸能鑑賞会、コンサート事業収入等
区補助金	121,110,000	中央区からの補助金
寄付金	0	
雑入	710	預金利子等
<b>収入合計</b>	<b>122,419,210</b>	

### <支出>

科目	決算額(円)	説明
事業費	70,706,768	
文化振興費	66,344,953	機関誌の発行、コンサート、文化講座、特別文化講演会、古典芸能鑑賞会、文化推進事業助成、中央区まるごとミュージアム、文化振興プロデュースチーム
国際交流振興費	4,361,815	国際交流のつどい、国際交流サロン、日本語教室、日本語指導者養成講座、日本語ステップアップ講座、ボランティア活動支援、姉妹都市親善写真展
管理費	39,699,942	
人件費	36,492,607	職員の給与
管理運営費	3,207,335	理事会、事務費等
予備費	0	
合計	110,406,710	
区返還金	12,012,500	中央区補助金の精算返納
<b>支出合計</b>	<b>122,419,210</b>	

## 協会主催の日本語教室

### ①水曜日教室

**日時** 毎月第1・第2・第3水曜日(8月を除く) 午後6時30分～8時  
**会場** 男女平等センター「ブーケ21」  
**実施回数** 30回  
**参加者数** 外国人 延328名、ボランティア 延291名

### ②木曜日教室

**日時** 毎月第1・第2・第3木曜日(8月を除く) 午前10時～11時45分  
**会場** 新富区民館  
**実施回数** 31回  
**参加者数** 外国人 延428名、ボランティア 延405名

### ③土曜日教室

**日時** 毎月第2・第3・第4土曜日(8月は第2・第3土曜日を除く) 午前10時～11時45分  
**会場** 新富区民館  
**実施回数** 31回  
**参加者数** 外国人 延309名、ボランティア 延321名

## 協会が支援する日本語教室

### ①ワールドフレンズ日曜にほんごクラブ

**日時** 毎週日曜日 午前10時～11時30分  
**会場** 日本橋社会教育会館  
**実施回数** 47回  
**参加者数** 外国人 延483名、ボランティア 延271名

### ②日本語おたすけたい

**日時** 月曜日(月3回) 午後7時～8時30分  
**会場** 日本橋社会教育会館  
**実施回数** 34回  
**参加者数** 外国人 延198名、ボランティア 延235名

### ③月島日本語倶楽部

※新型コロナウイルス予防の観点からティータイムを中止しているため、時間を変更して開催

しました。

**日時** 毎週火曜日(8月を除く) 午前10時～11時30分

**会場** 月島社会教育会館

**実施回数** 39回

**参加者数** 外国人 延143名、ボランティア 延152名

### ④日本語コミュニケーション・パートナー

**日時** 火曜日(月3回) 午後7時～8時30分

**会場** 新富区民館

**実施回数** 36回

**参加者数** 外国人 延176名、ボランティア 延185名

### ⑤銀座日本語教室

**日時** 毎月第1・第2・第3水曜日(8月を除く) 午前10時～11時30分

**会場** 築地社会教育会館

**実施回数** 33回

**参加者数** 外国人 延213名、ボランティア 延290名

### ⑥にっこにこ日本語

**日時** 木曜日(月3回)(8月を除く) 午後7時～8時30分

**会場** 佃区民館

**実施回数** 33回

**参加者数** 外国人 延666名、ボランティア 延344名

### ⑦にほんご生活

※オンラインと対面学習を併用して活動

**日時** 毎週土曜日 午後2時～3時30分

**会場** 築地教会別棟

**実施回数** 47回

**参加者数** 外国人 延463名、ボランティア 延266名

### ⑧CNC月島(令和5年12月開設)

※CNCは Chuo-ku Nihongo Circleの頭文字

**日時** 毎月第1・第2・第3金曜日(8月を除く) 午前10時～11時45分

**会場** 月島社会教育会館

**実施回数** 11回

**参加者数** 外国人 延126名、ボランティア 延82名

# 第17回中央区まるごとミュージアム2024

11月10日(日)、秋の恒例イベント「中央区まるごとミュージアム2024」を開催しました。第17回を迎えた今回は45の事業が実施され、のべ60,000人の皆さまに中央区の歴史と文化を満喫していただきました。

主催：中央区・中央区文化・国際交流振興協会

11/10(Sun)  
10:00～  
16:00

江戸の昔から、日本の文化・商業・情報の中心として発展してきた中央区。区内には名所・旧跡、伝統芸能、画廊・美術館、水辺など豊かな文化資源があふれています。そんな中央区全体を、大きなひとつの“ミュージアム”に見立て、区民の皆さんとともに多彩なイベントを実施する「中央区まるごとミュージアム」。今年は、7月にオープンした晴海図書館を巡るツアーをはじめとする「事前募集イベント」と、誰もが参加できる「当日イベント」、計45の文化イベントを実施しました。

当日は、区内を巡る「まるごとミュージアム専用貸切バス」や「江戸バス」が、また水辺を楽しめる「周遊船(事前予約制)」が無料で利用でき、皆さまの街めぐりをサポート。多くの方に中央区の歴史や文化をお楽しみいただきました。

今年、町が命名されて380年となった「佃島」では、住吉神社に程近い三角公園で“青空上映会”〈写真①〉を開催。月島を舞台にまちづくりを描いた約20分の短編映画『探す未来』を上映しました。月島図書館で行われた展示“まるっと佃”〈写真②〉では、昭和30年代の懐かしい写真や映像がずらりと並びました。再開発で建物の解体が進むなか、長屋をリノベーションして活用する“長屋見学会”〈写真③〉ではカフェを開放。地域雑誌『佃・月島』や『佃島・月島百景』の編集者の方々との交流も楽しめました。

開設45年の歴史ある音楽教室では“オープンスクール”〈写真④〉と題して、ピアノ、ヴァイオリン、ヴォーカルレッスンなどを無料体験でき、幼児からシニアまでが憧れの演奏に挑戦していました。高齢者福祉施設「いきいき勝どき」では“まるごと一日

いきいき館まつり2024”〈写真⑤〉が行われました。「マリンバ&ビブラフォンコンサート」では、昭和歌謡を織り交ぜた演奏に会場から手拍子が起こり、ヒット曲を口ずさむ人も。美しい音色と笑顔にあふれた楽しいステージでした。

歌舞伎座近くにある“松竹大谷図書館”〈写真⑥〉は、普段は平日のみ開館ですが、特別に日曜日にオープン。伝統芸能からアニメまで幅広いジャンルの貴重な台本やプログラムを手にすることができ、熱心なファンたちが集っていました。

毎年人気の“まち歩きツアー”は、今年は“注目の街「晴海」まち歩きと講談体験”〈写真⑦⑧〉を実施。参加者の皆さんは東京オリンピック・パラリンピック2020の選手村跡地に誕生した新しい街「晴海フラッグ」を散策したり、やげんぼりふどういんいちりゅうさいていゆう一龍斎貞友先生の「じじみ売り」を楽しんだり、中央区文化財サポーター協会のボランティアガイドさんと巡る約2時間を満喫しました。

このほか、イベント会場に設置されたスタンプを3つ以上集めて応募できる“スタンプラリー”や、区内にある全国各地のアンテナショップや老舗の名店など、計25のスポットで特典を受けられる協力事業も同時開催されました。

お子さまからシニアの方まで、区民の方も区外からの方も、誰もが中央区の豊かな歴史と文化、多様な魅力を1日で楽しめる「まるごとミュージアム」。未体験の方は、ぜひ来年、お誘い合わせのうえ、ご参加ください。例年9月中旬より“事前募集イベント”の募集が始まり、11月上旬にイベント開催となります。

最後に、今年もご参加いただきました皆さま、ご協力いただいた全ての皆さまに、この場を借りて感謝申し上げます。



①月島を舞台にまちづくりを描いた短編映画『探す未来』青空上映会



②まるっと佃で江戸時代から現代にいたるまでを紹介(月島図書館)



③月島リノベーション長屋見学会



④いろいろな楽器の体験、オープンスクール



⑤いきいき館まつり2024 マリンバ&ビブラフォンコンサート



⑥演劇・映画の専門図書館松竹大谷図書館



⑦まち歩きツアー 晴海フラッグを中心に散策



⑧一龍斎貞友先生による講談でめくくり

## 表紙 国際交流のつどい

平成5(1993)年にスタートした「国際交流のつどい」〈新型コロナで2回中止〉は、協会最大の国際交流事業です。以来一貫して、ボランティアによる手作イベントとして開催してまいりました。今回、記念に集合写真にチャレンジしてみました。じつはこのほかに大勢いらっしゃり、当日は162名の方にご活躍いただきました。また、2週間後に開催した「振の返り会」では、来年に向けた貴重なご意見・ご提案をいただきました。感謝・御礼申し上げますとともに、今後ともご協力をよろしくお願いたします。(来場者/外国人137名、日本人210名)+(運営:ボランティア・区職員162名、事務局7名)=計516名

特集は、エスピー食品株式会社スバイス&ハーブマスター一級惣菜管理士である磯部友美氏に、10月に開催した文化講座「知れば知るほど奥深い香辛料の世界」に関連した内容について寄稿していただきました。30回を迎えた「国際交流のつどい」では、料理(けんちん汁、スリランカのミルクティ)、や踊り(サルサ、盆踊り)、呈茶・茶道等日本の伝統文化の体験など様々なコーナーで楽しく交流を深めていただきました。17回目となった「まるごとミュージアム2024」では、45の多彩な文化イベントが繰り広げられ、延べ60,000人の方に中央区が擁する文化の魅力を満喫していただきました。